

令和7年度

地域に学ぶ

「トライやる

・ウィーク」

6/2（月）～6/6（金）一部、8日（日）まで

丹波市内6中学校の中学2年生が活動します！

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」とは？

「トライやる・ウィーク」は、阪神・淡路大震災を背景に、平成10年度から、県民すべてがかかわる兵庫の教育の象徴として実施されている1週間の体験活動で、今年度で28年目を迎えます。

「トライやる・ウィーク」は、学校・家庭・地域の三者連携が不可欠です。生徒たちに時間的、空間的なゆとりを確保し、地域や自然の中で生徒の主体性を尊重した様々な活動を通して、豊かな感性や創造性を自ら高めることができるように支援します。また、他者と協力・協働して社会に参画する態度や自ら考え主体的に行動し問題を解決する能力等を育成するため、多様な社会体験活動を通じ、生徒のキャリア発達を支援します。

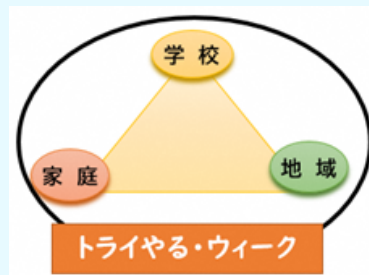
「地域の子どもたちを地域で育てる」、それが「トライやる・ウィーク」です。

地域に学ぶ

「トライやる・ウィーク」とは？

「トライやる・ウィーク」の語源は？

「トライやる・ウィーク」の名称は、「挑戦する：トライ」とともに「学校・家庭・地域の三者：トライアングル」の意味が込められています。



次のような生徒の育成を目指しています

地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な活動や体験を通して、

- (1) 豊かな感性や創造性
- (2) 他者と協力・協働して社会に参画する態度
- (3) 自ら考え、主体的に行動し、問題を解決する能力 などの育成を目指しています。

企業等にとって「トライやる・ウィーク」を受け入れる良さとは？

- (1) 社員自身が、生徒への会社紹介等を通して、自社をより深く知ることができます。
(社員教育の一環)
- (2) 生徒と一緒に、企業・施設の課題を解決をするためのアイデアを出し合ったり、新たな企画や商品を生み出したりすることができます。**(企業の社会的役割)**
- (3) 地域で大切にしている伝統等を、生徒が直接体験したり、触れたりすることで、次の世代に文化を継承することができます。**(地域への理解促進)**
- (4) 生徒に知られていない職業を知ってもらうことができます **(次代を担う人材育成)**

たくさんの受入先にお世話になっています

多くの受入先の協力によって、この「トライやる・ウィーク」は成り立っています。受入先にお世話になる活動として、「農林水産体験活動」「職場体験活動」「文化・芸術創作体験活動」「ボランティア・福祉体験活動」「その他の活動」があります。

昨年度は丹波市で、**237ヶ所**の受入先にお世話になりました。ありがとうございました。

今後、中学生の受け入れを考えてくださる方々は、各中学校または、丹波市教育委員会学校教育課（0795-70-0811）までご連絡ください。

**期間中は、頑張っている中学生を
温かく応援してくださ～い。**

